

JILPT 調査シリーズ

No. 25

2006年10月

# 多様化する就業形態の下での人事戦略と 労働者の意識に関する調査

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



# 多様化する就業形態の下での人事戦略と 労働者の意識に関する調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## まえがき

労働政策研究・研修機構では、就業形態の多様化が企業行動と雇用管理のあり方や労働者の意識に及ぼしている影響等について明らかにすることを目的として、2005年12月に「多様化する就業形態の下での人事戦略と労働者の意識に関する調査」を実施した。

調査は、全国の事業所10,000所とそこで働く従業員100,000人を対象とする大規模なものである。事業所調査では、正社員・非正社員の活用に関する考え方、雇用管理、職業能力開発等を尋ね、従業員調査では、賃金制度、職業能力開発に関する認識、現在の働き方を選択した理由、社会全体の格差に関する認識等を尋ねるなど、調査内容は多岐にわたっている。

本報告書は、この調査結果をとりまとめたものである。事業所調査及び従業員調査の主な調査結果を図表で紹介するとともに、事業所や従業員の属性別の詳細なクロス集計結果を資料として掲載した。

調査にご協力いただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げたい。

本報告書を、関係各方面で広く活用していただければ幸いである。

2006年10月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 小 野 旭



# 目 次

## 第1章 調査要綱

1 調査の趣旨	3
2 調査の概要	3

## 第2章 調査結果

第1節 正社員・非正社員の活用に関する事業所の考え方	9
1 非正社員の割合・人数の動向	9
(1) 3年前と比べた非正社員の割合の変化	9
(2) 非正社員の人数変化にかかる今後の予測	10
2 正社員・非正社員に期待すること	11
3 非正社員の割合が上昇している要因、非正社員を活用する理由	12
4 非正社員の活用による影響	13
第2節 企業の雇用管理と従業員の意識	15
1 正社員の雇用管理・賃金制度と正社員の意識	15
(1) 賃金決定要素の変化と正社員の意識	15
(2) 正社員間の賃金格差及び労働意欲の変化	20
2 非正社員の雇用管理・賃金水準と非正社員の意識	26
(1) 正社員と同じ仕事に従事する非正社員の有無	26
(2) 非正社員と正社員との賃金格差に関する認識	29
(3) 非正社員の昇進・昇給制度	33
(4) 非正社員の正社員への転換制度	35
第3節 教育訓練に関する事業所・従業員の認識	37
1 教育訓練の実施状況	37
2 自己啓発のための支援の実施状況	39
3 事業所の今後の能力開発の方針	42
4 職業能力開発に関する従業員の取組	42
第4節 現在の働き方を選択した理由	45
1 現在働いている理由、現在の就業形態を選択した理由	45
2 現在の仕事を継続したい又は変わりたいとする意向とその理由	48
第5節 社会全体の格差に関する認識	52
1 日本社会全体での所得格差に関する認識	52
2 格差の拡大に関する認識	53
3 格差に対する考え方	56

## 資料

調査票（事業所調査） .....	61
調査票（従業員調査） .....	77
付属統計表（事業所調査） .....	91
付属統計表（従業員調査） .....	207